

1840

軍極秘

昭和十七年八月分

第十五警備隊 草山丸戦時日誌

馬公防備隊

小 番 號	14
-------------	----

海軍功績部
17.9.19
接受

草山機密第六號一四

昭和十七年九月二日

草山丸艇長

海軍省武功調査委員殿

戦時日誌送付件

一草山丸戦時日誌(八日分)

右送付候也

六部

(終)

功調
19.19
陸軍省

(長崎相)

海軍

下士官兵

准士官以上

草山丸艇長 海軍豫備中尉小玉五郎

主計科	看護科	機関科	兵科
下士官	下士官	下士官	下士官
兵官	兵官	兵官	兵官
一	一	四	七
			五
一	一	五	二

経過

月日	曜	時刻	記	事
八一	土	三・ 一八三・	天候曇 風向東 風速八 瀬洲島發移動警戒 海口泊	氣温二八。

主要令達報告等

發草山九杖長

宛馬防機関長

草山機密第五。九番電

燃料現在額並、賣額報告(八月一日現在)品名一號重油(燃)
一四二四。前十五日間消費額(一一一五行動用) (終)

経過

八一	二	日	天候曇 風向東南東 風速三 氣温三。
一三	三	・	海口泊 半艇上陸許可

		二八〇	上陸員飯艘
--	--	-----	-------

主要令達報告等

十シ

経過

八月	五月		天候曇 風向南東 風速三 気温三〇。
		海口泊	
		一三三。	半艇上陸許可
		一八三。	上陸員飯艘
		二三五	海口發移動警戒

主要令達報告等

十シ

経過

八月	四月		天候雨 風向南 風速二 気温二七。
		二一五	海南湾着警戒
		七〇	海南湾發移動警戒

一三一・鋪前角着警酒

主栗令建報告等

發草山丸秋長

宛一五警司令水警隊長

草山機密等五一番電

草山九ヲ率イ四日・九三。山仔村冲着戎克認メカ

果狀ナシ

發一五警司令

宛一五警部隊

一五警機密第六五一番電ハニ

一九二〇

機密第一五警電令第七一號

一機密一五警作命令第二ニ號中左ノ通り改正

(イ) 作戰期間ヲ八月三日ヨリ十日迄第一期作戰ヲ三日ヨリ七日迄

第二期作戰ヲ九日ヨリ十日迄ニ改ム

(ロ) 各隊ノ任務行動中左ノ通り追加第一期作戰四日(六日)第

五日(七日)八五、三子雲去墟漢豊市中間、地區及三江東方地

區、掃蕩其、橋梁電柱、補修警戒、任ズ

(一) 第二次作戰討伐隊編制表中左、通、改ム

(二) 本部、本部附一個分隊、改ム

(三) 甲隊、本部小隊一、今隊半特進二個分隊(東坂隊)指揮

官石原兵曹長、改ム

二、特進二個分隊(新橋隊)、十日迄、大致坂、豫備隊トシテ

待機シ電柱警戒、援助

(二) 八月十日一六、特別進撃隊及陸戰隊講習員小隊、編成

シ解、

(三) 本部及本部小隊七日一三、海、坂着八日夜間警戒、兼

シ文教ニ進出(大致坂ヨリ特進二個分隊合同)

二、東山九八五日以後便宜發海ニ警戒ヲ兼テ清瀬ニ回航十日迄

指揮官、定ル所ニ依リ同地ヲ基地トシテ銅鼓嶺七洲島
 方面ノ海上警戒善清瀾ノ協力清瀾方面ノ警備ヲ援助スミシ(終)

八・五	水	天候半晴 風向南 風速ニ 気温 三・五
七・〇	鋪前角發移動警戒	
一・〇・五	海口泊	
一三三・〇	半艇上陸許可	
一八・〇	上陸員飯服	

主要令達報告等

發海警長官

宛海南部隊各所轄長

一五警機店第三四六番寬

二・一。

電令第九八號

海口ニコレラ發生ニ臨ミ軍人軍屬ハ速ニコレラ防接種ヲ施行スベシ接種

八二回注射トシ軍醫學校製ハ、五及一。傳研製迄ハ熱研製ハ一。及二。トス (終)

八一六木	天候曇 風向南 風速三 気温三。。
	海口泊(真水塔載)
	三三。半艇上陸許可
	一八。上陸員飯艇

主要令達報告等

發草山九艇長

宛馬防機園長

草山機密第五二番電

行動用燃料受込報告二日。受入八月二日供給所佐置需部

海口支部品名軽油一八。五立 在庫一八。立 行動用 (終)

経過

八一七金	天候曇 風向南 風速一 気温三一。
------	-------------------

		七、海口發移動警戒 一四、山仔村沖着警戒
--	--	-------------------------

主要令達報告等

ナシ

経過

八、八	土	天候曇 風向南西 風速八 気温二九五 五、山仔村沖發移動警戒 一六、清瀾着警戒
-----	---	---

主要令達報告等

ナシ

経過

八、九	日	天候曇 風向南 風速二 気温二九七 七、五 船運凡清瀾入口立標、一八七度一七〇米ニ座礁ス 七、三、清瀾發移動警戒 一六、五、清瀾着警戒
-----	---	--

主要令達報告等

ナシ

経過

八一〇月	天候曇 風向南西 風速七 気温二八・五
・七・	船運丸引降作業、夕メ清瀬發移動警戒
・八・	船運丸引降作業始ム
・九・五	同右中止銅鼓嶺沖移動警戒
・一七・	清瀬着警泊

主要令達報告等

發海軍省副官

宛各鎮守府外連名

海電機密第四八番電

帶勲ヲ要スル場合略授拜用ニ関シ左、通り定メラル

一 戦地事変地又ハ演習地ニアリテハ下士官及ビ兵モ略授ヲ拜用ス

(調製迄終前通りトシナルベク一齊ニ自辨調製拜用ニ得ル

様指導セヨ

二 戦時又ハ事変中ハ内地ニ於テモ軍装ヲ以テ通常禮装ニ換フル
場合及軍裝着用ノ場合ハ一般ニ略授拜用スル事ヲ得 (終)

發一五警司令

宛草山丸船長関南丸船長清瀾指揮官

一五警機密第六五九番電

機密一五警電令第七四號

船運丸救難作業指揮官ヲ草山丸指揮官ニ指定 草山丸
指揮官ハ草山丸関南丸及第八南進丸ヲ指揮 船運丸救
難作業ニ從事スベシ 清瀾指揮官ハ右作業ヲ援助スベシ (終)

経過

八一二火	九〇〇	天候半晴 風向南南西 風速五 気温三二〇 船運丸引降作業 夕 清瀾發移動警戒
一〇五〇	引降作業始ム	

一三四。	同右中止附近移動警戒
一三〇。	大型戎克二隻右五度一〇〇米ニ認ム
一三〇。五	配置ニ就ク
一三四。	敵戎克及陸岸ヨリ小銃一齊射撃ヲ受ク
一三四ニ	打方始ム
一三五。	敵戎克撃沈
一四〇。	打方止ノ要具收ム
一五四。	清瀬着警泊

主要令達報告等

發草山丸艇長

宛一五警司令

草山機密第五一二番電

一三三。

船運凡荷揚ガ作業進捗セズ明朝。七三。救難作業再開
 豫定船運凡異狀ナシ 本日海上平穩ナリ

(終)

發草山九艇長 宛一五警司令、軍區長、馬防司令、軍區長

草山機密第五一五番電

草山九戰鬥概報

二〇〇

一、八月十一日一五〇。大海沖一〇〇。米ニ於テ大型密輸戎克二隻
發見臨檢、為接近セシ時同戎克及陸岸ヨリ一齊射撃シ末
リシ故直チニ應戰戎克二隻撃沈陸上部隊ニ相當ノ被害ヲ
與ヘタリ

二、三曹田崎忠義左上膊部小銃彈貫通銃創(輕傷最近便ニテ
送ル)清瀬病室ニ入室セシム 其他損害ナシ

三、發射彈數六種砲一七發 七七機銃一ニ〇發
輕機及小銃一七〇發 (終)

發一五警司令

宛一五警各部隊

一五警機密第六六一番電

一 永興新市方面より避難セル苦力ノ言ニ依リバ今晚龍發羅馬

隊ハ永興新市方面ニ於テ敵襲ヲ受ク損害アルモノ如シ

二 永興新市方面ノ敵ニ對シ左ニ依リ聯合討伐ヲス

三 聯合討伐隊指揮官廣田中尉討伐隊本部隊二個分隊大致

坂隊特進(新橋隊)ニ個分隊

四 各隊一五三。大致坂ニ集結別ニ是ノル所ニ依リ討伐ヲ行フ (終)

機密一五警電令七五

發一五警司令

宛一五警部隊

一五警機密六六五番電

一四三。

明一二日左ニ依リ聯合討伐實施ノ豫定

一 討伐區域道宗市方面

二 聯合討伐隊指揮官直率指揮官廣田中尉討伐隊甲隊

指揮官廣田中尉本部二個分隊清瀾邁號三個分隊

新橋(特達)二個令隊東路一個令隊乙隊指揮官鈴木特
 務大尉湖山隊羅馬坎龍發隊一個小隊半予備隊指揮
 官村田特務大尉文昌及文昌基地隊一個小隊

五 集結場所時刻

甲隊 大致波

乙隊 龍發

豫備隊

原隊

八〇〇
九〇〇

四 討伐要領別示ス

經過

八 三 水	天候曇 風向南 風速三 気温二九.五
七〇〇	清濁發移動警戒
一七〇〇	清濁着警消

主要令達報告等

(終)

發草山丸船長

宛閩南丸指揮官

草山機密第五一四番電

。七三。

一二日。七一五船運丸自力離礁。御末援ヲ謝ス

(終)

發草山丸船長 宛一五警司令一五警水警隊長

草山機密五一五番電

八月一二日船運丸荷揚作業進捗ト共ニ。七一五自力ニテ離礁清瀾ニ入港セリ船底機関異狀ナシ

(終)

發閩南丸指揮官 宛一五警司令

閩南丸機密第一。七番電

。七。船運丸自力離礁。八。後港内假泊ニ。海口ニ

(終)

向ヶ出港、豫定

経過

八一三木

天候半晴 風向南南東 風速四 気温三二。

八〇〇	清瀬發移動警戒
一八〇〇	清瀬着警戒

主要令 達報告等

發海南警備府長官

宛海南部隊各所轄長

海南部隊機密第四〇番宛

一一二〇

海南部隊電令第一〇號

日本本土東方面に對スル敵航空部隊蠢動、模様アルニ付キ支

那本土内敵飛行機、行動ニ関シ警戒ヲ嚴ニセヨ

(終)

經過

八一四金	天候曇 風向南西 風速三 氣温二八・五
八五	清瀬發移動警戒
一四〇〇	清瀬着警戒

主要令 達報告等

發一五警司令

宛水警隊長 草山丸艇長

一五警機密第六六七番電

一九三〇

機密一五警電令第八〇號

一 水警隊長ハ第八南進丸準備出来次第開南九ヲシテ之ヲ

曳航榆林ニ回航セシムベシ

二 草山丸指揮官ハ當分ノ間(八月二十日迄)適宜清瀾ヲ基地トシ

テ支那沿岸及海南海峡ノ海上警戒ニ任ジ清瀾在泊中ハ

清瀾指揮官ニ協力同方面ノ警備ニ協カスベシ (終)

經過

八 一 五 土	天候晴 風向南	風速ニ	気温ニ九・五
清瀾警泊			

主要令達報告等

發草山丸艇長

宛馬防機関長

経過

草山機密第五一六番電
 燃料現在額並ニ費額報告(八月一五)現在)一號重油(瓦)
 一、三、五、五 前一五日間消費額一、八、八、五
 (終)

経過

八 一 一 七 月	八 一 一 六 日	九〇。清瀾發移動警戒 一四五。清瀾着警戒 二二三。東閣市ニ對シ成林射撃 二二六。打方始ム(六種砲) 二四〇。打方止ノ要具收ム	天候晴 風向南東 風速三 気温三二。 天気曇 風向南東 風速四 気温三二五
-----------------------	-----------------------	--	--

主要令達報告等

ナシ

八二八	火	八三〇	清瀾發移動警戒
一七〇	〇	一七〇	清瀾着警泊

經過

一五警備隊病室ニ委託入室セシム
 三曹岡崎忠義左上膊貫通銃創(輕傷)ニテ八月一四日
 草山機密第五一七番電
 (終)

主要令達報告等
 發草山九隊長 砲馬防司令 馬防軍隊長
 一四三〇

一〇三九	打方始ム(六顆砲)
一〇四二	打方止メ要具收ム

清瀾警泊

一〇三五 東郊市ニ對シ威赫射撃

主要令達報告等

経過

八一九水	天候半晴 風向南 風速三 気温三一・五
	清瀬警署(真水塔載)

主要令達報告等

發一五警司令

宛草山丸飛長、清瀬指揮官、水警隊長

一五警機密三四一番電

機密一五警電令第八一號

一、情報ニ依ルニ敵ノ潜水艇一隻八月一七日一五・時東經一

二一度北緯一九度三・分(清瀬東方一、哩)附近伏在

二、海南部隊電令第一・號ニ基ク

三、航空部隊(一機)及水雷艇ヲ以テ之ヲ搜索攻撃セシメラル

四、草山丸ハ清瀬ニ於テ一九日中即時停機、航空機行動中

ナシ

之ヲ警戒ニ任ズベシ。七四。

(終)

發一五警司令

宛草山丸艇長 清瀬指揮官

一五警機密第三四番電

。八〇〇

敵潜水艦八月一七日一五・東經一一一度北緯一九度三〇分ア
リトノ中央ヨリ情報アリタルガ清瀬方面ニテ此種ノ情報ナキ
ヤ返

(終)

發草山丸艇長

宛一五警司令

草山機密第五一八番電

一〇〇〇

貴機密第五四二番電^送情報ナシ

(終)

發海南警備府參謀長

宛馮艇長 通報草山丸

艇長 清瀬指揮官

海南警備府機密第三四七番電

海南軍需部所屬福澤丸外四隻 明早朝清瀬沖ニ到着

豫定海南部隊電令第一。三號。依七敵著水難。討シ右艦船警
戒方御手配相成度尚福原九一八日正午、位置南明島南方三
二哩達力五五節

(終)

経過

八二・木

天候半晴 風向東 風速三 気温三一・九

清瀬警泊

主要令達報告等

發一五警司令

宛草山九艇長、開南九指揮官、清瀬派

遣隊指揮官、水警隊長

一五警機密第三四九番電

一〇三五

機密一五警備隊電令第八一號。依九一七日清瀬沖ニ於ケル潜水

艦ニ関スル情報事實無根ナリト判明セリ右ニ對スル警戒ヲ解ク

〇九一〇

(終)

經過

八二一
金
・七・
・三二一・
海口泊
天候半晴風向北東 風速ニ氣温五二・〇
清瀬發移動警戒

主要令達報告等

ナシ

經過

八一二
土
・二五三・
・一八・
海口泊
天候曇 風向東 風速ニ氣温二九・七
半航上陸許可
上陸員飯糰

主要令達報告等

ナシ

經過

八二五
日
天候半晴 風向北東 風速七 氣温二八・七

		海口泊
	一三五。半舷上陸許可	
	一八〇。上陸員政艇	

主要令達報告等

發海南警備府軍醫長 宛海南部隊各所轄長

海南警備府機密第二三・九三五四五番電

。九三五

コレラ患者海口市內十七日三名 十八日一名 二十日一名(以上中國人)

二三日二名(陸軍一 邦人一)發生累計患者二二保菌者二

計二四名(内海軍一 陸軍一 邦人三) (終)

發海南警備府長官 宛海南部隊各所轄長

海南部隊機密第二三・一五二七番電 二・一五

998T 海南部隊電令第一〇八號

燈火通常管制ト十七

(終)

經過

八二四	月	海口泊	天候曇	風向北東	風速九	氣温二七・八
-----	---	-----	-----	------	-----	--------

主要令達報告等

ナシ

經過

八二五	火	海口泊	天候曇	風向南東	風速二	氣温三〇・〇
-----	---	-----	-----	------	-----	--------

主要令達報告等

ナシ

經過

八二六	水	海口泊	天候曇	風向東	風速五	氣温三〇・〇
-----	---	-----	-----	-----	-----	--------

主要令達報告等

發馬防土計長 宛二五警備隊土計長通報草山九艇長

498T

馬防機務第二六一五二八七七番電
 草山丸八月分左ノ通り支給サレ度シ本月ヨリ下士官三・四兵二・四
 俸給五四・四戰給品四九円五。共合計五八九円五・五
 終

経過

八二七木	一三・〇 一八・〇	天候半晴 風向東 風速三 気温二八・〇 海口泊 半艇上陸許可 上陸員艇飛
------	--------------	---

経過

八一三八金	一三・〇	天候半晴 風向北東 風速三 気温二七・〇 海口泊 半艇上陸許可
-------	------	---------------------------------------

主要命令達報告等

ナシ

一八〇	上陸員級艇
-----	-------

主要令達報告等

ナシ

経過

八一九	土	二五〇	清瀾沖着警泊
二五〇	海口發移動警戒	二五〇	清瀾沖着警泊

主要令達報告等

ナシ

経過

八一三	日	二七〇	清瀾發移動警戒	二七〇	新村港着警泊
二七〇	天候曇 風向北東 風速八 気温三一・五	二七〇	清瀾發移動警戒	二七〇	新村港着警泊

主要令達報告等

ナシ

経過

八	三	一	月
七	〇	〇	天候曇 風向北北東 風速六 気温二九
一	三	〇	新村港發移動警戒 榆林着

主要令達報告等

發草山丸艇長

宛海南參謀

草山機密第五一九番電

七〇〇

修理ノ夕メ草山丸ヲ率ヒ八月三十一日一五三。榆林着、予定

(終)

發草山丸艇長

宛海南參謀、一五警司令、水警隊長

草山機密第五二〇番電

草山丸ヲ率ヒ八月三十一日一一三。榆林着

(終)

1870

戦時日誌

自昭和十七年八月一日
至昭和十七年八月五日

馬公防備隊草山丸
(機関部)

日 曜 天 所 在	主 要 記 事
八二土 晴海口	〇二四三瀨州島突移動警戒一八〇五海口着海口泊 陸上散步海口泊
八二日 “	陸上散步海口泊 〇レラ豫防放射室内手入清水三起核載二二五海 口突移動警戒
八二月 “	〇二五海南灣着〇七〇海南灣突移動警戒一三 一五鋪前角着鋪前角警戒
八二四 “	〇七〇鋪前角突移動警戒一〇〇五海口着機械 機取半艇陸上散步海口泊
八二水 晴海口	貴池井掃除度力試驗3K突電機期速先開群は衣 置用枚検査調整主機機又突電機試運轉並 清水七起核載半艇陸上散步海口泊
八二六 木	

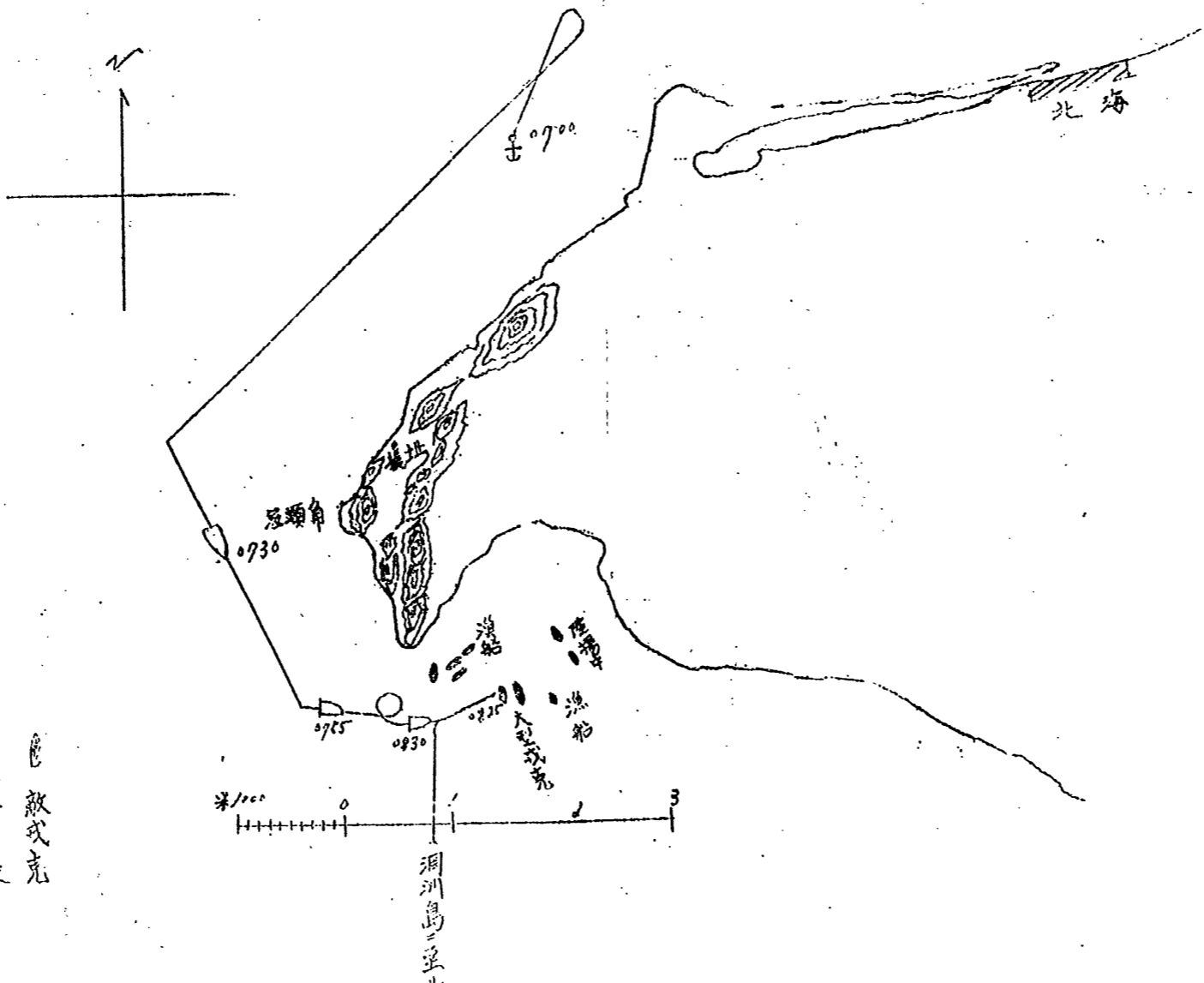
八十七	金	山仔村	○六五〇海〇祭移動警戒一五〇〇山仔村着警戒
八十八	土	清瀬	○五〇〇山仔村祭移動警戒一六一五清瀬着警戒
八十九	日		○七三〇清瀬祭移動警戒一七〇〇清瀬着警戒
九〇	月		○七〇〇清瀬祭移動警戒一七〇〇清瀬着警戒
九一	火		○九〇〇清瀬祭船運丸曳出作業引續々移動警戒
九二	水		一五四〇清瀬着警戒
九三	木		○七〇〇清瀬祭船運丸曳出作業引續々移動警戒
九四	金		一七〇〇清瀬着警戒
九五	土		○八〇〇清瀬祭移動警戒一八〇〇清瀬着警戒
九六	日		○八二五清瀬祭移動警戒一四〇〇清瀬着警戒
九七	月		室内及機械手入大掃除
九八	火		○八五〇清瀬祭移動警戒一六五〇清瀬着警戒
九九	水		室内及機械手入清瀬警戒

八 六	八 五	八 四	八 三	八 二	八 一	八 〇	八 九	八 八
火	水	水	火	土	日	土	金	木
晴	晴	晴	曇	〃	〃	〃	〃	〃
清	〃	〃	〃	〃	〃	〃	海	〃
瀨	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
<p>〇八二〇清瀨、彙移動警戒一七〇日清瀨着警泊 〇六四五清瀨、彙二二一五海口着海口泊 〇六四五清瀨、彙二二一五海口着海口泊 清水七飛搭載機、機取半舷陸上散歩海口泊 眞水ポンプ分解修理半舷陸上散歩海口泊 糧食搭載眞水ポンプ及機械室金物手入半舷陸上 散歩海口泊 糧食搭載及室内至眞水ポンプ手入半舷陸上散歩海口泊 眞水ポンプ及機械手入半舷陸上散歩海口泊 室内及要具手入書類整理半舷陸上散歩海口泊 豫備品手入航海準備 〇四五五海口彙移動警戒二〇五清瀨沖着警泊</p>								

1875

Jp

戦争對勢圖



日本 敵我 縦

機関使用時数表

發電機		主機		期	艦	艦	役	作
使用時数(時分)	制式及数	使用時数(時分)	制式及数					
八一〇	四ツイル軽油直流発電機一基	一六八一〇	四ツイル軽油直流発電機一基	昭和十七年八月一日至八月十日	馬公防備隊草山丸	特設砲潜艦	第十五警備隊	海南方面部隊

(総)

草山機密第六號一五

昭和七年九月三日

草山丸艇長

海軍省武功調査委員殿

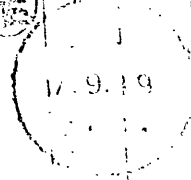
戰鬥詳報送付件

一草山丸戰鬥詳報(八月分)

右送付候也

二部

(終)



海軍

1878

軍極秘

昭和十七年八月分

第十五警備隊草山丸戰鬥詳報

馬公防備隊

小 番 號	/
	14

海軍功績課
17.9.19
授受

一 情况竝ニ目的

草山丸戦斗詳報

昭和十七年八月十日

頁一五二四〇

イ 兼テ海南島清瀾市及銅鼓嶺附近海岸、雷洲半島
 廣洲灣方面ヨリ物資欠乏セル海南島匪賊、兵器並物資
 ノ密輸供給ヲナス戒克アリト、情報アリク

ロ 右ノ情報ヨリ八月八日ヨリ本艇ハ同方面、海上ヲ移動警戒
 ノ任ニ當リ居タルモ八月九日朝運搬船船運丸清瀾港口
 ニテ坐礁シタルヲ同日以降満潮時ヲ期シ毎日引却シ
 作業ニ従事其後移動警戒ニ當リ密輸船ノ掃蕩
 ト海上輸送ノ覆滅ヲ期シ使命達成ニ邁進セントス

ハ 八月十一日前同様引却シ作業後一三〇〇ヨリ同海上ヲ銅
 鼓嶺ヘ向ケ移動警戒中大膽ニ晝間密輸セントスル
 敵性大型戒克二隻大海沖一〇〇〇米ノ地兵ニ發見

月	日	曜	時刻	記
---	---	---	----	---

事

二 戰鬥對勢圖列圖ノ通り
三 行動終過

セルヲ以テ臨檢スベク接近セントシタルニ敵戎克ハ本艇ヲ見ルナリ直ニ大海陸岸へ小銃ノ射撃ヲナシツツ逃走シタルヲメ威赫射撃ヲシ尚モ接近ス此ノ時陸岸トノ連絡アリタルモク戎克ヨリノ射撃開始ト同時ニ陸岸ヨリノ小銃一齊射撃ヲ受ケタリ依テ本艇ハ停止シ機銃輕機小銃ヲ以テ陸岸匪賊へ六種砲ヲ以テ戎克ヲ射撃應戰ス同海岸ハ非常ナル遠淺ニシテ戎克ヲ拿捕不可能ナルヲメ遂ニ一三五。砲撃ヲ以テ該戎克ヲ撃沈ス戎克乗組員ハ逸早ノ兵器ヲ持チテ通船ニテ陸上へ逃走スルヲ以テ機銃掃射ヲナシ多大ノ損害ヲ與ヘタリ

八二一火	一三四。清瀬附近移動警戒	天候曇 風向南南西 風速一五 気温三二。
一三五。大型戎克二隻左二度一〇〇〇米ニ認め	一三・五 配置ニ就リ	
一三四。敵戎克及陸岸ヨリ小銃一齊射撃ヲ受リ	一三四二 打方始ム	
一三五。敵戎克撃沈	一四。打方止メ要具收ム	
一五四。清瀬着警泊		

四 成果註ニ所見

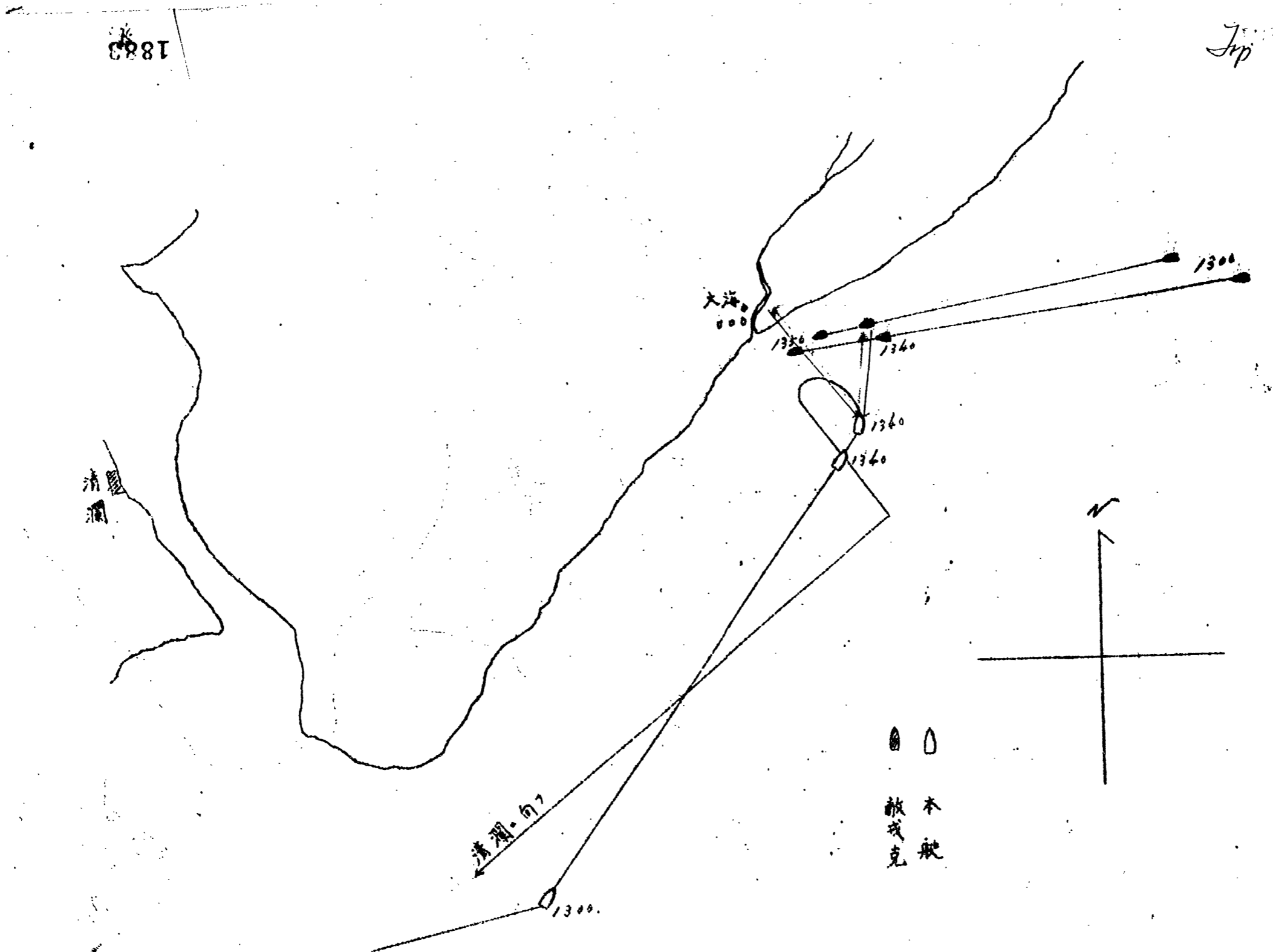
1. 大型戎克二隻撃沈陸上部隊多大、損害ヲ與フ
 2. 敵戎克ト交戦中一時四七分三帶岡崎忠義艦橋ニテ
 操舵中左上膊部ヲ小銃彈ニテ貫通セリ其他我ニ損害ナシ

ハ發射彈數六顆砲一七發 七七顆機銃一ニ發

輕機小銃一七發

ニ清瀾方面海岸一帶ハ椰子密林ニシテ匪賊ノ行動ニハ全ク苦心ヲナスノ狀況ニシテ陸岸近ク海面トナ仲々警戒ニ危險伴ヒ時トシテ威赫射撃ノ必要ヲ痛切ニ感ズ

(終)



戦斗對勢圖

Jap

海防

草山機密第六號二。

昭和十七年十月二日

草山丸艇長

海軍省武功調査委員殿

戦時日誌送付件

一、草山丸戦時日誌(九月分)

右送付候也

二部

(終)

備考

九月分戦斗詳報該當事頂ナレ



海軍